

たちばな たかし

立花 隆

* 昭和15年5月28日

長崎市生まれ



○ 略歴

昭和39年 「文藝春秋」入社 「週刊文春」担当となる（昭41退社）
(24歳)

昭和43年 「素手でのし上がった男たち」を立花隆の名前で発表 言論活動開始
(28歳)

昭和49年 膨大な資料を駆使し実像に迫った「田中角栄研究」で一躍脚光を浴びる
(34歳)

宇宙、脳、インターネット、エコロジー、進化学など多様なジャンル
へのアプローチで、ニュージャーナリズムの旗手に

平成4年 小石川に知の要塞『猫ビル』完成
(52歳)

平成7年 東京大学先端科学技術研究センター客員教授に就任
(55歳)

○ 主な受賞歴

昭和58年 第31回菊池寛賞 「宇宙からの帰還」

平成3年 第4回新潮学芸賞 「精神と物質」

平成5年 第2回大川出版賞 「電腦進化論 - ギガ・テラ・ペタ」

平成10年 第1回司馬遼太郎賞
第49回放送文化賞

○ その他の代表作

中核 VS 革マル(昭50)、アメリカ性革命報告(昭54)、農協(昭55)

脳死(昭61)、サル学の現在(平03)、宇宙よ(平04)